

## 山形森林管理署 もがみ支署通信



作業を前に全員で記念撮影



枝打ち作業 (ギコギコ)



巣箱作りに挑戦

## 「塩根川学校の森」森づくり体験活動

【10月17日(日)】遊々の森「塩根川学校の森」において、森づくり体験活動を行いました。(及位地区の国有林)

この活動は、平成16年より甑山探求会庄司一夫氏が中心となり、地域住民の方々や児童を対象に、毎年開催しております。

当日は、約35名(うち子供12名)が参加して開催されました。

真室川町長、最上支署長、森づくり推進室長、探求会会長庄司氏のあいさつの後、当支署職員からスギの枝打ち作業の進め方と、手ノコの使い方を説明した後、スギの枝打ち作業を行いました。

その後は、親子で巣箱作りと、最後は手作りピザを作り美味しくいただきました。(芋の子汁も美味しかったです！)

今回参加した子供たちが、さまざまな活動に参加し経験することで、地元の自然の大切さ、故郷の素晴らしさなど、何か一つでも感じ取って興味をもっていただけると嬉しいな。

森林管理署では、今後も地域の行事等に積極的に参加し、自然とふれあう森林学習の場所の提供など、これからも協力してまいります。



大蔵村村長の挨拶

## 銅山川地区直轄地すべり防止事業協議会を開催

【10月20日(水)】大蔵村内において「銅山川地区地すべり防止事業協議会」を開催いたしました。

大蔵村内で実施している「銅山川地区直轄地すべり防止事業」とは、事業規模が大きい場合や、高度な技術を必要とする場合において、都道府県に代わって国が直接事業を実施する制度のことです。

当協議会では、大蔵村村長、山形県庁森林ノミクス推進課森林保全主幹、最上支署長の挨拶の後、最上支署大蔵治山事業所職員より、平成4年度の事業着手から令和2年度まで実施した事業の進捗状況、及び事業概要の説明を行いました。参加者からは、今後の事業計画についてなど、さまざまなご意見をいただきました。

本事業は令和6年までの完成に向け事業も終盤にさしかかっており、今後の事業の進捗状況等を含め、関係者間との情報連絡を共有しながら事業を進めて行くことを再確認いたしました。

最上支署では、今後とも地域住民の方々のご理解とご協力を得ながら安全で安心な暮らしが出来るよう事業を実施してまいります。



大蔵治山事業所職員の説明



パネル展示



山形森林管理署 最上支署

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11

TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

